

三角山の歴史

神居尻山 (カムイヌプリ)

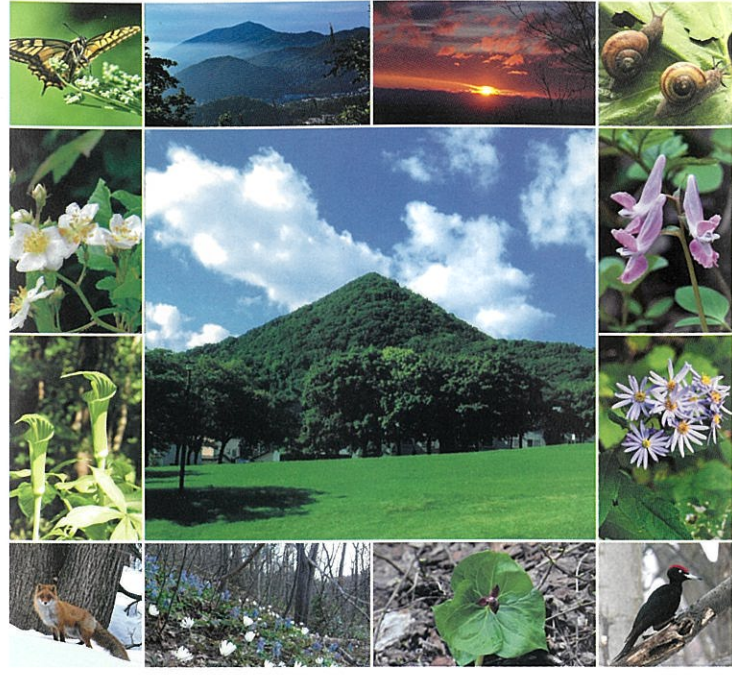
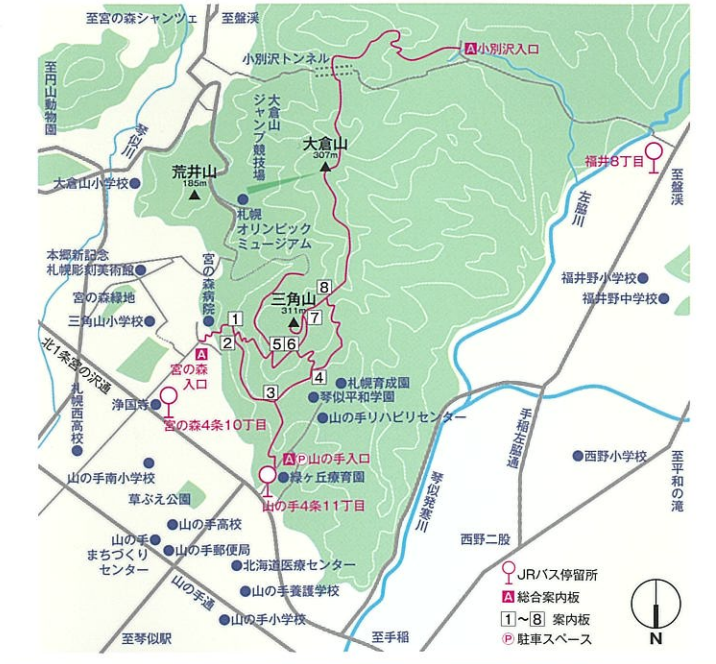
正初期にジャンプ競技が日本に紹介されると、当時の北大スキー部は積極的にこれに取り組みました。大正11年にシルバースキジャンプという日本初の固定式ジャンプ台が、彼らのホームゲレンデであった三角山に作られました。ジャンプだけではなく、スキーに最適なスロープの続く三角山は、戦前、札幌を代表するスキーゲレンデとして親しまれていました。昭和15年に開催予定で、戦争のため返上となった第5回札幌冬季オリンピック大会の回転競技場に使われたのも三角山でした。

高度成長の荒波にもまれて

三角山といつとリンゴの甘い香りを思い浮かべる方も多くいらつやうでしよう。戦前から昭和40年代まで、三角山のすそ野には多くのリンゴ畑が広がり、秋の収穫作業は当時の札幌の風物詩として知られていました。しかし、昭和30年代から始まる高度経済成長のつねりは、リンゴ畑を住宅地に変え、南東部では採石事業が始まりました。山肌には大きな採石の爪痕が残りましたが、採石場の拡大によるみどりの消滅は、三角山の自然を守るという地域住民の意識を高めました。

都市部に隣接しながらも、市民に愛され美しい自然が保たれている三角山のすがたは、こつした市民の暮らしに密接した歴史の中から作られたものでした。

みんなの三角山
三角山散策マップ



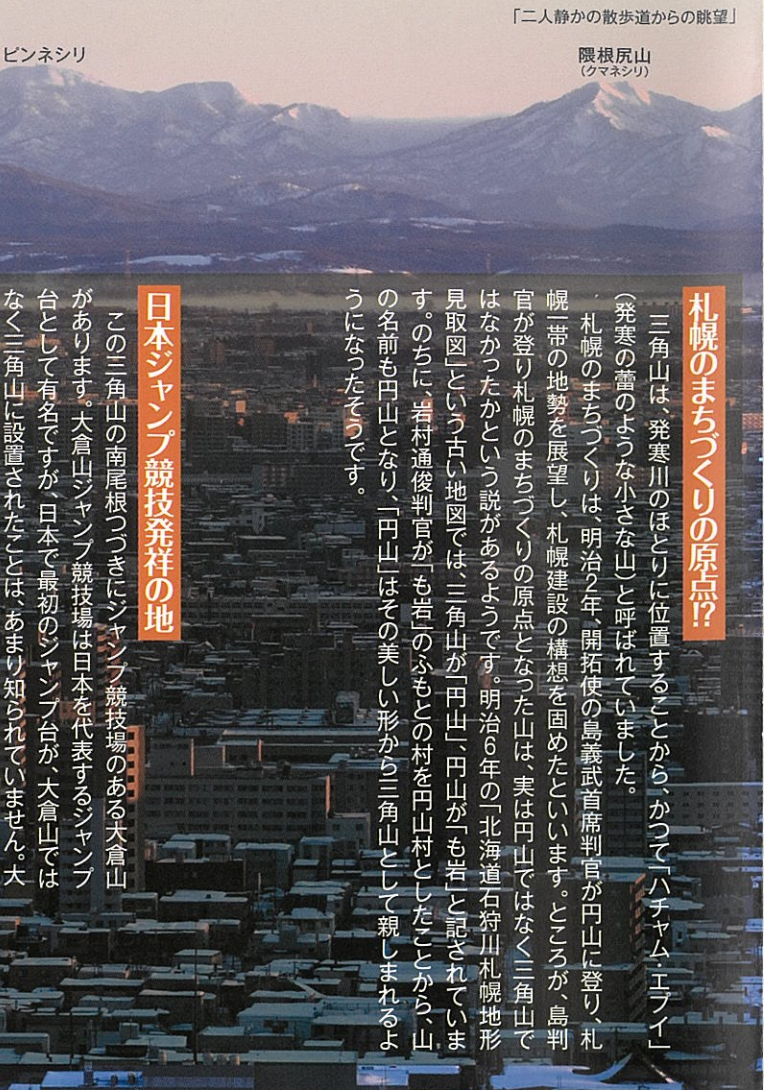
交通手段

- ・山の手入口 地下鉄西28丁目→(JRバス循環西20山手線)→山の手4条11丁目下車→(徒歩3~4分・0.2km)→入口
- ・宮の森入口 地下鉄西28丁目→(JRバス循環西20山手線)→宮の森4条10丁目下車→(徒歩8分・0.4km)→入口
- ・小別沢入口 地下鉄琴似→(JRバス琴41西野福井線)→福井8丁目下車→(徒歩25分・1.2km)→入口

※駐車スペースがあるのは山の手入口のみです。

札幌市みどりの推進部みどりの管理課
札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館6F
Tel:011-211-2522 Fax:011-211-2523
http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/rute/index.html

札幌市みどりの推進部みどりの管理課



「二人静かの散歩道からの眺望」

隈根尻山 (クマネシリ)

札幌のまちづくりの原点?

三角山は、寒寒川のほとりに位置することから、かつて「ハチャムエライ」(寒寒の薔のような小さな山)と呼ばれていました。札幌のまちづくりは、明治2年、開拓使の島義武首席判官が円山に登り、札幌の地勢を展望し、札幌建設の構想を固めたといわれています。ところが島判官が登り札幌のまちづくりの原点となった山は、実は円山ではなく三角山で、はなかつたかという説があるようです。明治6年の「北海道石狩川札幌地形見取図」という古い地図では、三角山が「円山」、円山が「もろ」と記されています。のちに、岩村通判判官が「もろ」のふもとの村を円山村としたことから、山の名前も円山となり、「円山」はその美しい形から三角山として親しまれるようになったそうです。

日本ジャンプ競技発祥の地

この三角山の南尾根(つぎ)にジャンプ競技場のある大倉山があります。大倉山ジャンプ競技場は日本を代表するジャンプ台として有名ですが、日本で最初のジャンプ台が、大倉山ではなく三角山に設置されたことは、あまり知られていません。大

三角山
えとせとら
市民に愛された山

三角山の生き物
キアゲハをシンボルに

三角山の植物
350種以上の植物

三角山では350種以上の植物が確認されています。三角山の植生は、都心部に位置している山としては豊かな植物に恵まれています。野花としては、ヒトリシスカの白い花やスマレサイシンの紫の群落などが春に咲き誇り、夏から秋にかけては、オオハナウドやアキノキリンソウなどの花が登山者の目を楽しませます。樹木では近隣では珍しいオヒョウの大木の存在が知られているほか、ミズナラやオニグルミなどの木の実は豊富です。

ヒトリシスカ

アキノキリンソウ

オオハナウド

三角山の1等三角点
札幌のまちづくりの原点

三角点は、すべての測定の基準となるポイントで、1等から4等までの三角点が全国に約10万か所あります。このうち三角山に置かれたものはもっとも重要な1等三角点で、全国に約970か所、道内に224か所しかありません。1等三角点として、三角山の位置は北緯43度3分26秒9169、東経141度17分13秒6311、標高311.04m(2018年現在、国土地理院)です。三角山に三角点を設置することを決めたのは、明治31年6月19日で、平成10年に設置100年を迎え、三角山を愛する人々によって記念行事が行われました。

キアゲハ

エゾリス

ミズナラ

1等三角点

三角山コラム

三角山は生きた教材

都市部に位置しながら豊かな自然が保たれた標高311メートルと程よい高さの三角山は、近隣の小学校や高校などの授業や学校行事、野外活動の場として取り入れられています。

三角山の麓から手紙を出してみませんか?

三角山山麓の山の手郵便局では、希望される方には三角山がデザインされた風景印(消印)を押してくれます。これは平成元年に、当時の郵便局長が円山や大倉山に比べ知名度の低い三角山を広めようとデザインしたもので、三角山の姿と一等三角点、キアゲハがデザインされ、愛好家の楽しみの一つにもなっています。

ボランティア

三角山の散策路は、ボランティアの方々によって整備されています。清掃登山など、利用者の方々が気持ちよく利用できるよう日々活動されています。

三角山散策のエチケットとマナー

利用上の注意

- 三角山に生息する動植物は傷つけないようにしましょう。
- 森林を火災から守るため、喫煙・火遊び・焚火・火器の使用はやめましょう。
- ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- 散策路への自転車・オートバイの乗り入れはやめましょう。
- もしもの時に備え、単独での入山は控え、グループでの散策をお楽しみください。
- 近年、クマの出没が市街地に接近しています。注意してご利用ください。
- 虫刺され、ウルシなどカブレをおこす植物、マムシにもご注意ください。
- 三角山は身近で小さな山ですが、散策路には小石や岩の多いところやぬかるみもありますので、トレッキングシューズなどの底がしっかりした履き物でのご利用をお勧めします。
- 三角山は、犬を連れてのご利用は禁止です(補助犬をのぞく)。
- 野生動物への餌付けは行わないでください。

その他の注意点

スズメバチの予防知識と対応

- ◆スズメバチは、むやみに刺しません。外敵から巣を守るために刺すので、刺激を与えなければ刺したりしません。
- ◆散策路での行動にも注意しましょう。巣がどこにあるかわかりづらいので、むやみに周りの木を叩いたり、石や小枝を投げたりなど、刺激となるようなことをしないようにしましょう。
- ◆もし、ハチが攻撃してきたら…巣が近いことが考えられます。姿勢を低くし、刺激するような行動を避け、できるだけその場から離れるようにしましょう。ハチが冬の準備に入る9月ごろがとくに注意が必要です。
- ◆ハチに刺された時の症状と処置方法
はげしい痛みと腫れが出ます。人によっては、息苦しいじんま疹などの全身症状があらわれる場合があります。対応が遅れると危険ですので、すぐ病院で治療を受けてください。

ダニの予防知識と対応

- ◆肌の露出を避けましょう。ダニは笹藪の中に多く生息し、春から秋にかけて活動が活発になります。長袖・長ズボン・足を完全に覆う靴、帽子、手袋等を着用し、なるべく肌の露出を避けましょう。
- ◆もし、ダニに刺されたら…吸血中のダニが体に付いているのを見つけた場合、無理に引き抜こうとしないでください。無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残り、化膿したり、ダニの体液を逆流させてしまったりする恐れがあるので、医療機関(皮膚科)でダニの除去・洗浄等の処置をしてもらってください。病原体を保有するマダニに咬まれると、ダニ媒介感染症を発症する可能性があります。発熱等の症状が認められた場合は、必ず医療機関を受診してください。